

2023年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年4月11日

上場会社名 キャリアバンク株式会社

上場取引所 札

コード番号 4834 URL <https://www.career-bank.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 良雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長兼経営管理部長 (氏名) 橋本 正太

TEL 011-251-3373

四半期報告書提出予定日 2023年4月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第3四半期の連結業績(2022年6月1日～2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	6,078	6.7	601	44.1	610	47.4	350	46.3
2022年5月期第3四半期	5,698	23.9	417	218.4	414	263.5	239	212.1

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 429百万円 (32.7%) 2022年5月期第3四半期 323百万円 (172.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	353.21	
2022年5月期第3四半期	241.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第3四半期	4,877	2,066	27.3	1,343.27
2022年5月期	3,924	1,656	25.0	987.97

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 1,333百万円 2022年5月期 981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期		0.00		13.00	13.00
2023年5月期		0.00			
2023年5月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日～2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,421	0.3	343	37.9	339	36.6	158	84.8	159.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年5月期3Q	993,000 株	2022年5月期	993,000 株
期末自己株式数	2023年5月期3Q	株	2022年5月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年5月期3Q	993,000 株	2022年5月期3Q	993,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響からの経済社会活動の正常化の動きが進むなか、ウクライナ情勢の長期化や原材料価格の高騰による物価上昇など、不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の対策を継続実施しつつ、企業と人材を繋ぐ役割と機能を果たし、質の高い人材サービスの提供を通じて、双方が求めるニーズに応じてまいりました。

人材派遣関連事業においては、前年同期に計上した新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に係る売上が減少したことから、売上が前年同期を下回りました。人材派遣関連事業（関東）においては、企業からの受注はあるものの、首都圏における人手不足の影響を受け、稼働可能な登録者の確保が難しくなっており、売上高及びセグメント利益が前年同期を下回りました。人材紹介事業においては、人材の流動化による求人ニーズへ迅速に対応したことで、特にIT系人材の成約数が伸びたことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。再就職支援事業においては、キャリアチェンジ及び介護人材養成に係る受託事業が増加したことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。BPO事業においては、給与計算処理人数及び新規顧客の導入関連売上が増加したことにより、売上高及びセグメント利益ともに前年同期を上回りました。日本語学校運営事業においては、前年同期に起こっていた新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限で新規の留学生が入国出来ない状況が解消されたことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。その他事業は、ソフトウェア・ハードウェア開発事業が加わったことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高6,078,786千円（前年同期比6.7%増）、営業利益601,865千円（前年同期比44.1%増）、経常利益610,799千円（前年同期比47.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益350,740千円（前年同期比46.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ952,330千円増加し、4,877,232千円となりました。これは主に売掛金の増加1,810,024千円とそれに伴う現金及び預金の減少873,719千円との差額等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ541,798千円増加し、2,810,358千円となりました。これは主に短期借入金の増加500,000千円によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ410,531千円増加し、2,066,873千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益350,740千円の計上及び利益剰余金の配当12,909千円の結果、利益剰余金が337,831千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月15日に発表いたしました2023年5月期(2022年6月1日から2023年5月31日)の業績予想に関しまして、変更はありません。

また、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,193,968	1,320,248
売掛金及び契約資産	742,401	2,552,425
その他	177,214	210,979
貸倒引当金	△422	△882
流動資産合計	3,113,162	4,082,772
固定資産		
有形固定資産	199,891	182,931
無形固定資産		
のれん	107,181	91,925
その他	232,053	234,689
無形固定資産合計	339,234	326,615
投資その他の資産	272,613	284,912
固定資産合計	811,739	794,460
資産合計	3,924,902	4,877,232
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,063	154,622
短期借入金	600,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	35,805	184,594
1年内償還予定の社債	14,000	7,000
未払費用	398,605	320,930
未払法人税等	79,806	153,259
未払消費税等	202,383	110,776
賞与引当金	—	1,681
その他	319,905	200,856
流動負債合計	1,732,569	2,233,721
固定負債		
長期借入金	516,153	543,220
その他	19,837	33,416
固定負債合計	535,990	576,637
負債合計	2,268,559	2,810,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,240	256,240
資本剰余金	104,184	105,249
利益剰余金	559,368	897,199
株主資本合計	919,793	1,258,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,377	64,107
為替換算調整勘定	13,882	11,067
その他の包括利益累計額合計	61,260	75,174
非支配株主持分	675,287	733,008
純資産合計	1,656,342	2,066,873
負債純資産合計	3,924,902	4,877,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
売上高	5,698,060	6,078,786
売上原価	4,420,875	4,505,873
売上総利益	1,277,185	1,572,913
販売費及び一般管理費	859,432	971,048
営業利益	417,753	601,865
営業外収益		
受取賃貸料	6,278	6,227
受取配当金	1,938	2,309
為替差益	—	4,142
その他	3,721	7,458
営業外収益合計	11,938	20,138
営業外費用		
支払利息	4,624	4,434
賃貸費用	6,278	6,227
為替差損	4,257	—
その他	50	542
営業外費用合計	15,210	11,204
経常利益	414,480	610,799
特別利益		
投資有価証券売却益	841	—
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	1,486	3,689
特別利益合計	2,327	3,689
特別損失		
投資有価証券評価損	3,876	—
特別損失合計	3,876	—
税金等調整前四半期純利益	412,931	614,488
法人税等	108,330	196,079
四半期純利益	304,601	418,408
非支配株主に帰属する四半期純利益	64,782	67,668
親会社株主に帰属する四半期純利益	239,818	350,740

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	304,601	418,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,628	17,972
為替換算調整勘定	14,618	△6,614
その他の包括利益合計	19,247	11,358
四半期包括利益	323,848	429,767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249,666	364,654
非支配株主に係る四半期包括利益	74,182	65,112

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。